

地方創生☆アイデアコンテスト2021



起業 INTERNSHIP

～宮津市×学生×起業成功体験～



同志社大学政策学部 野田ゼミ

小野桜 鎌田麻椰 近藤真帆
田家京佳 村山恵望

全体概要

現状分析

→ 宮津市について

問題発見

→ 人口の問題

→ 経済問題

→ 見出した課題

起業について

→ 学生の意識

→ 起業家の声

→ 既存団体

政策立案

→ 実施概要

→ 政策の流れ

→ 詳細

→ 具体例

展望

→ 政策の効果

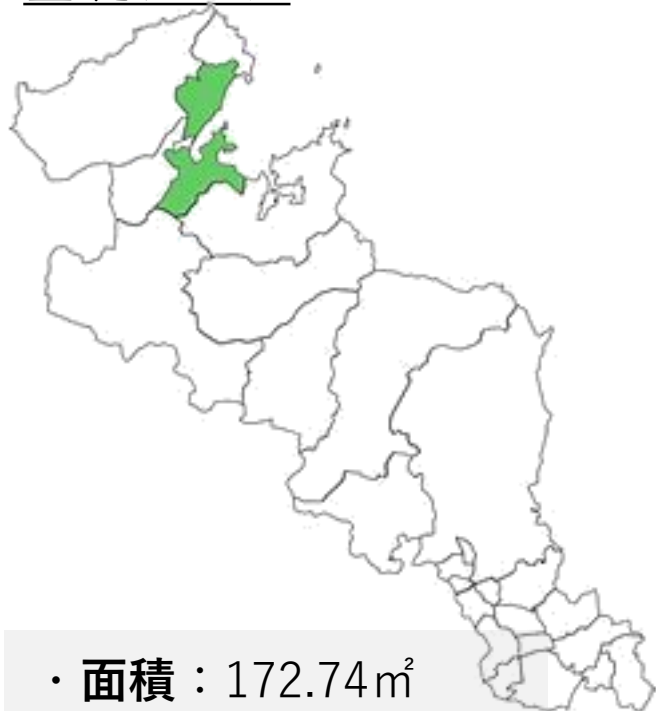
→ アンケート結果

→ 宮津市の評価

→ 将来の展望

① 京都府宮津市について

基礎データ



- ・ 面積：172.74km²
- ・ 人口：17,232人
- ・ 産業：観光業、漁業

特徴

地理

京都府宮津市は京都府の北西部に位置し、若狭湾に面する

観光

北近畿の観光拠点として年間約300万人の観光客が訪れる

日本三景「天橋立」が人気観光スポットとして知られる

特産物



○オリーブオイル



○海産物



○天野橋立ワイン



○富士酢

②-1 宮津市の人口の問題



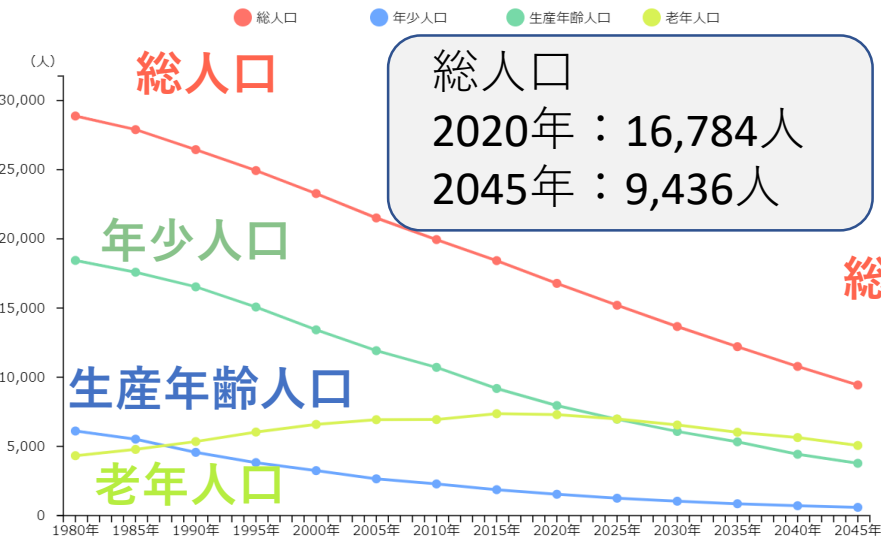
人口推移



人口増減

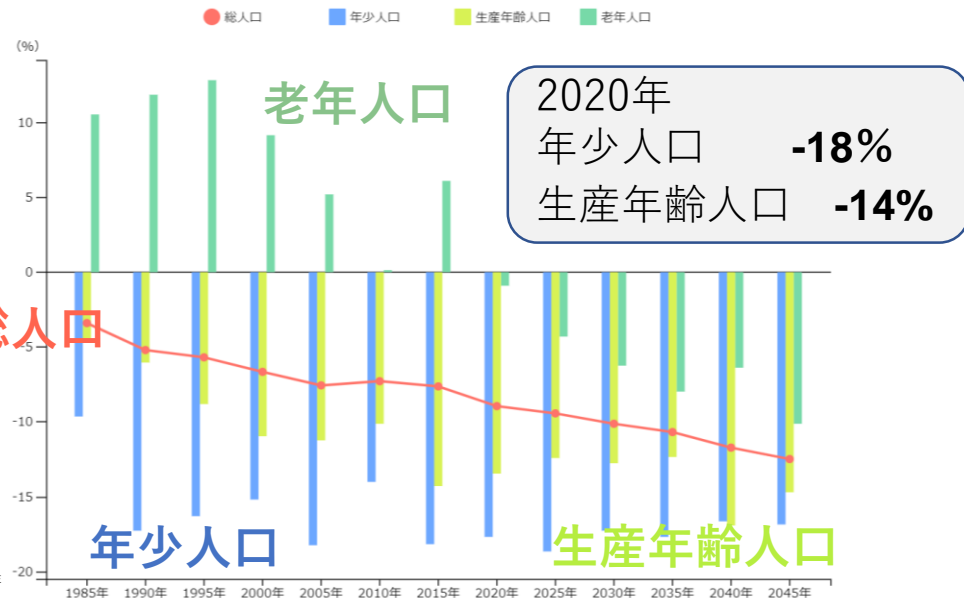
人口推移

京都府宮津市



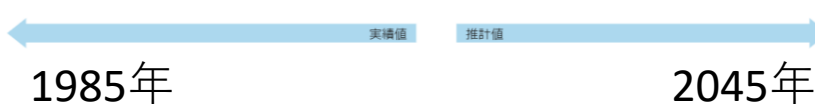
人口増減

京都府宮津市



◆分析

- ・ 総人口減少が著しく
これからも衰退していくことが予想される
- ・ 年少人口の減少が著しい
- ・ 生産年齢人口の減少が著しい



課題▶☒
若者を呼び込みたい

②-2 経済的な問題



財政指標比較

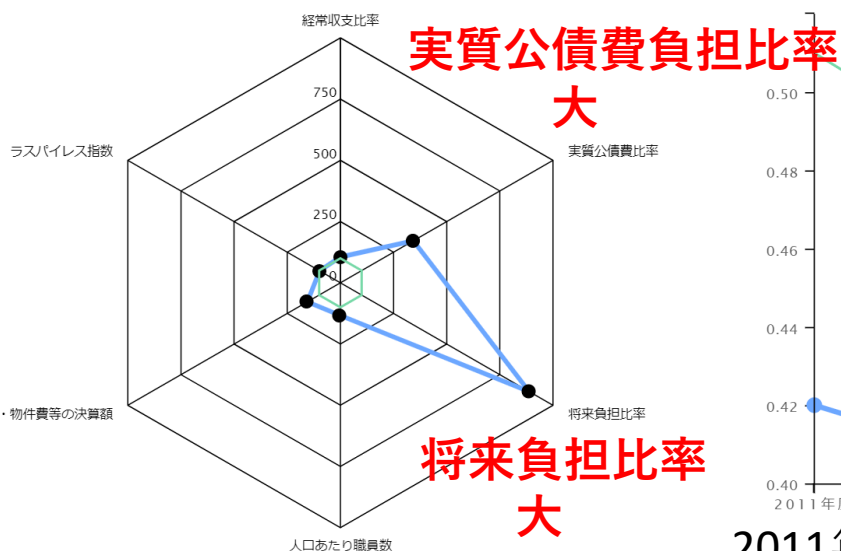


財政力指数

主要財政指標比較レーダーチャート

京都府宮津市
2019年度

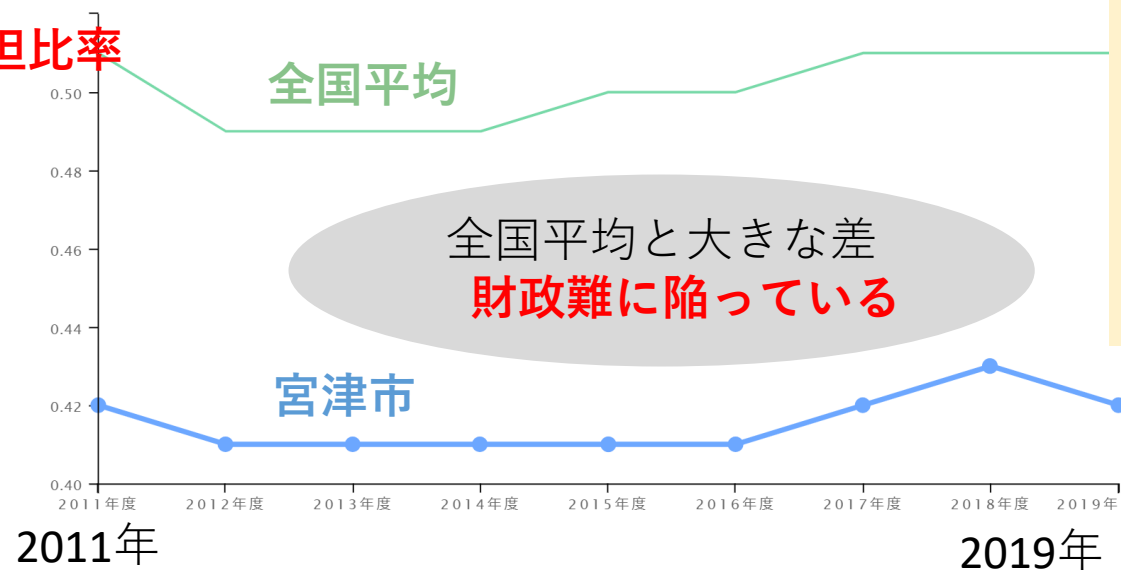
● 京都府宮津市 ● 全国平均



財政力指数の推移

京都府宮津市

● 京都府宮津市 ● 全国平均



◆分析

- ・ 宮津市の財政は現在かなり厳しい状況
- ・ 公債費負担比率が大きい
- ・ 将来まで財政難が続くことが予想される

課題 ▶ ☒
**財政難を乗り越える
 実現可能な具体策が必要**

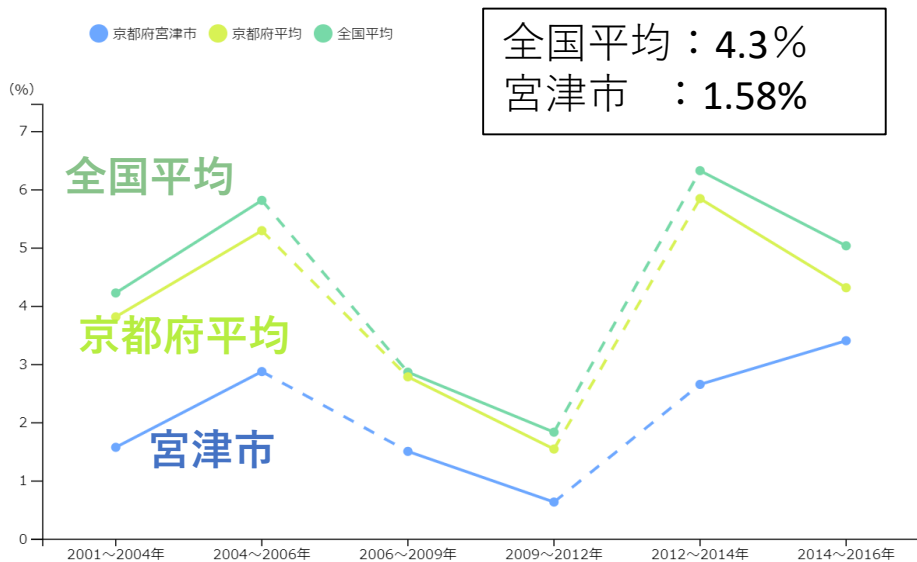
②-2 経済的な問題



創業比率

京都府内 **19位**
全国 **1,099位** (指定地域最下位)

創業比率



◆分析

創業比率が全国的に見ても少ない



RESAS「創業比率」と
総務省「平成28年度市町村別経済状況調」をもとに作成

財政力指数と創業比率の関係性

創業比率上昇による財政力指数への効果

被説明変数: 財政力指数		係数	ロバスト標準誤差	P値
説明変数	創業比率 2014~16年	1.314	0.328	0.000
	人口(対数) 2015年	0.087	0.005	0.000
	第2次産業割合 2015年	1.143	0.081	0.000
	第3次産業割合 2015年	0.867	0.084	0.000
	定数	-1.272	0.045	0.000
決定係数		0.562	全変動の56%を説明	
観測数(東京23区を除く市町村)		1,711		

創業比率が高いほど、
財政力指数が高くなる
創業比率10%へ上昇
→ 財政力指数0.13上昇

◆分析

創業比率が高ければ
財政力指数も高い

いずれの変数も有意

人口が多いほど、
また第2・3次産業割合が高いほど、
財政力指数は高くなる

課題 ▶ ☒

財政力指数を向上させるために
創業比率を上げることが重要

②-3 問題から見出した課題

問題から見出した宮津市の抱える課題

- ①若者を呼びこみたい
- ②財政難を乗り越える具体策
- ③創業比率の低さ



若者が宮津市で起業 = 解決に繋がる

どんなアプローチが必要なのか

若者に宮津市の魅力を知ってもらうには…
 若者に起業をはじめってもらうには…



の枠組みが必要



起業は **学生** にとって魅力的なのか??



③-1 起業に対する学生の意識

💡 引用：関智宏（2017）『**起業・創業する—2015年度における大学生を対象とした調査—**』
同志社商学リポジトリ 第69巻第2号、277-308頁

起業・創業したいと思うか

項目	度数	有効回答率
思う	74	31.1%
思わない	125	52.5%
わからない	39	16.4%
合計	238	100.0%

実際に起業した学生起業家の数に対し、
「起業・創業したい」と考えている学生の数が多いことがわかる



→ 学生が起業を戸惑う理由は？

「起業・創業したい」と答えた学生が**31.1%**もいるにもかかわらず、
「起業・創業の割合は増大してこなかった。」

（引用：289頁,19行目）

グループ別階層的クラスター分析の結果

<思わない グループ>（上位3項目）

リスクが大きい	56.80%
経営背負う	39.20%
失敗・不安定の不安	34.40%

「大学生による起業・創業を今後増大させていくには、
「起業・創業したいと思わない」理由として挙げられた、
リスクが大きいこと、経営を背負うということ、
失敗したり、安定しないことを不安に感じることという**精神的障害を**
いかに低めていくか、その環境整備のための支援施策が求められる。」

（引用：289頁,22～24行）

③-2 起業家が語る「起業に必要なもの」とは

💡 実際の成功者の体験から起業のきっかけを掘り下げてみる

実際にインタビューしました

有名起業家

参照：SLOGAN株式会社「FASTGROW」HP

- ・ **与沢翼** 氏 (YOZAWA TUBASA H.D.)
ストリートファッションの
洋服を福袋にして販売し、
成功したことがきっかけで起業
- ・ **山田進太郎** 氏 (株式会社メルカリ)
映画サイトを開発し、
サービスをイチから立ち上げる
面白さを実感し、WEBサービスを
世界中の人に使ってもらいたいと考え、起業
- ・ **長谷川祐太** 氏 (株式会社Evrika)
通っていた**そろばん教室の問題を**
自動で作成するソフトを開発、成功し、
好きなことに没頭できる場所を提供する為、起業

実際の学生起業家

Q 起業しようと思ったきっかけはなんですか？

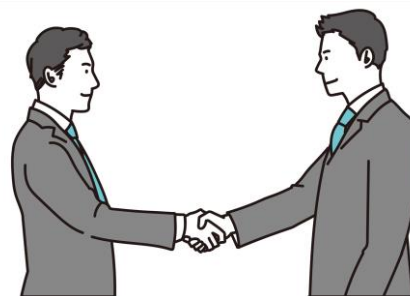
- ・ **I.T** 氏 (20歳)
(サッカークリニック事業)
長期インターンシップに参加し、
事業運営や経営のおもしろさを
味わったから。
- ・ **M.R** 氏 (22歳)
(セールスプロモーション事業)
大学生時の**営業代行で、フリーランスとして全国トップセールスを獲得**し、自身のスキルでの挑戦のために起業

彼らは成功体験を手に入れ、
起業へと踏み入れている

つまり起業には

成功体験

が必要である

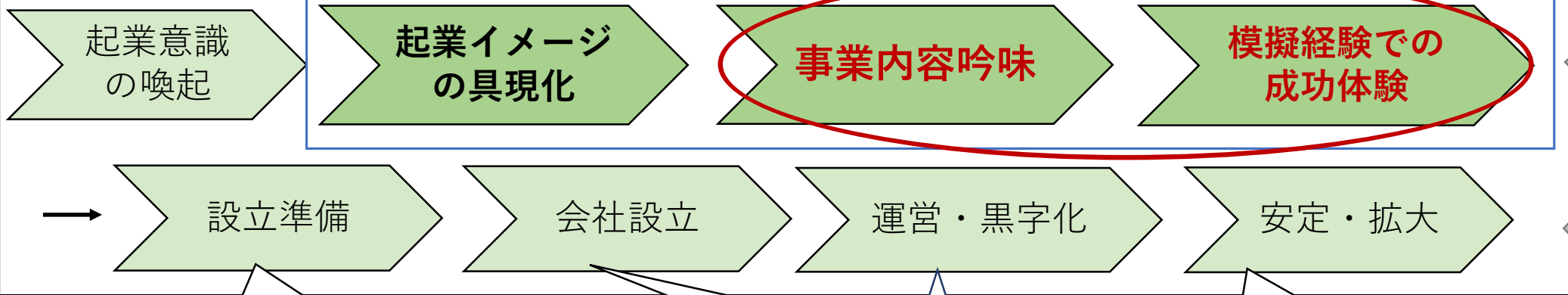


③-3 既存の起業支援団体

起業プロセス

黒石健太郎 (2015)
『日本の起業家率の現状と課題』28頁をもとに
本研究のインタビュー調査等の結果を踏まえ加工

「起業に対する学生の意識」や
「起業家の声」から特にこのセクションが重要



この部分の
サービス主体が
存在しない

参入アクターが
増加傾向にある

NPO法人 参照：「aile 起業の学校」
支援内容
 ・ 起業、経営相談
 ・ スキルアップセミナー

地方自治体 参照：宮津市HP (起業誘致・創業支援)
支援内容
 ・ 融資、個別相談
 ・ 法的制度セミナー

独立行政法人 参照：独立行政法人JICA
支援内容
 ・ 人材育成
 ・ 企業関係機関間の
 関係推進

起業した後の支援アクターは増えつつあるが、起業の機会増加には
事業内容吟味や**模擬経験での成功体験**などのサービスを提供する主体が必要

④-1 政策立案（実施概要）

参加対象者：大学生（全学年）

期間：約6か月（長期休暇2か月含む）

場所：宮津市

内容：宮津市で起業に挑戦する

起業INTERNSHIP!!

～宮津と学生を繋ぎ起業に挑戦～

政策概要

起業インターンシップの運営を行う団体を設立
（地域と学生を繋ぎ、起業を支援）



宮津市の協力のもと起業インターンを実施

起業の **成功体験** を

手に入れる機会を提供

起業イメージ
の具現化

事業内容
吟味

模擬経験での
成功体験

ねらい

- ・学生に起業の成功体験を味わってもらうことで
将来の起業意識を高める
- ・起業を通して宮津の魅力を知ってもらう

④-2 政策の流れ

政策実施の流れ

起業インターンシップ運営団体の創設

①起業に関する講座の開催

ビジネス、起業の基本についての講義

②参加者募集+選考

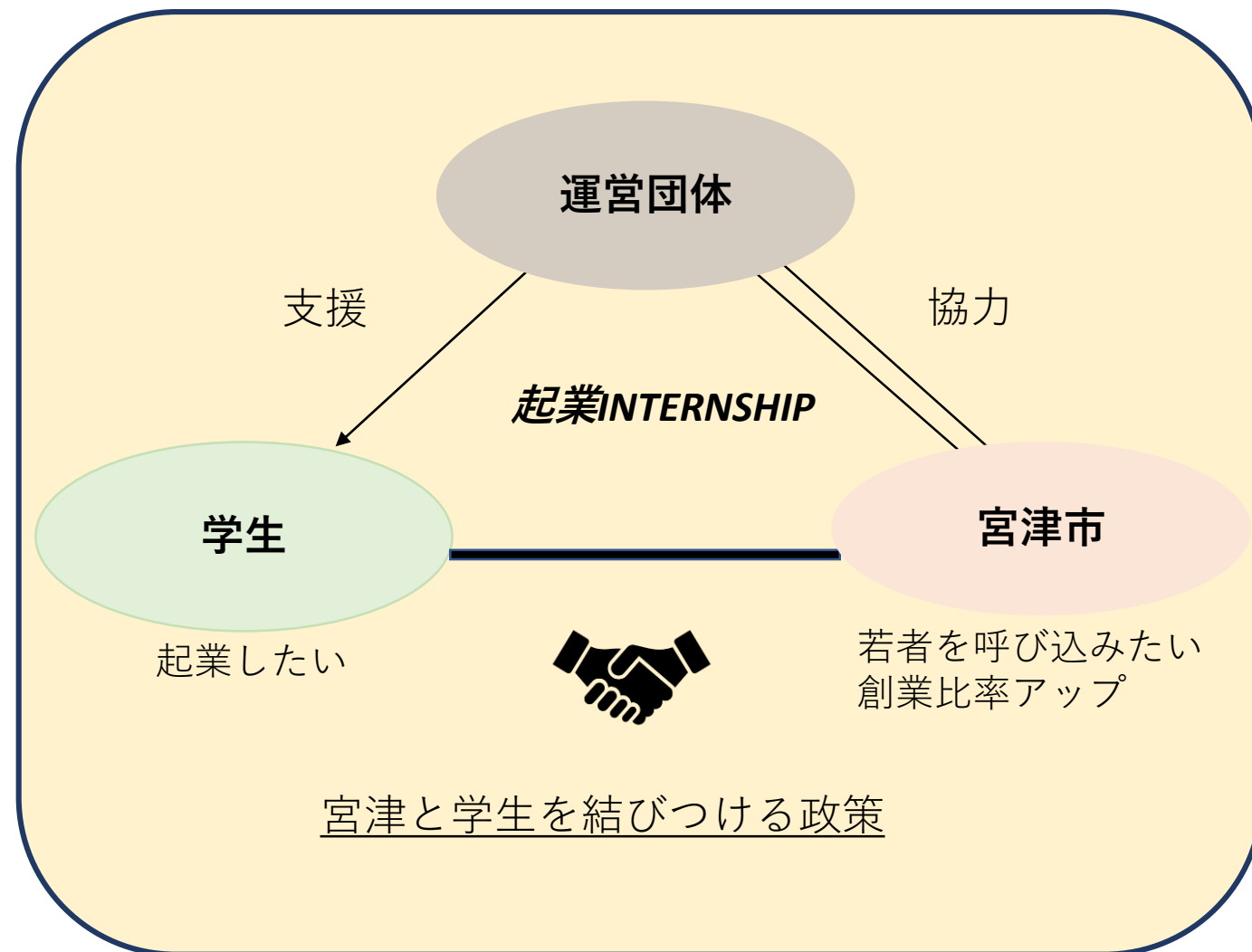
スキル学習を受講した学生のみ応募資格あり

③事業内容決定、準備

宮津でフィールドワーク
参加者で起業テーマ決定

④起業インターンシップ開催

長期休暇の2か月を利用し、実際に店舗化
期間中は売り上げ向上を目指す



④-3 政策立案（運営団体について）

起業インターンシップ運営団体

団体概要

- 主体 NPO法人
- 活動内容 起業インターンシップの開催、運営
- 目的 学生に起業の成功を体験してもらう
- 役割 宮津と学生を結び付ける

インターンシップ中の活動

- ・宮津市の方との交流の機会を設ける
- ・起業内容決定までの相談、サポート
- ・活動報告書に対するフィードバック

資金面

京都府、宮津市それぞれの支援金を利用

- ・起業支援事業費補助金（京都府）
- ・宮津市チャレンジおうえん補助金
- ・宮津市創業等支援事業補助金

参照：京都市HP、宮津市HP



宮津市
Miyazu City

運営
団体

学生

④-4 政策立案（インターンの流れについて①）

①起業に関する講座の開催

起業イメージの具現化

※起業インターンシップ応募には
この講座への参加を必須とする

- ◆起業家などを講師として呼び、起業に関する講座を開講
(起業への第一歩となるような取り組み)
- ◆宮津市の職員が宮津の魅力を伝える機会

- ・主催 起業インターンシップ運営団体
- ・参加者 大学生（全学年）
- ・参加費 無料
- ・方法 オンラインでの配信を予定
(多数の学生に参加してもらう狙い)

講座内容

第1部（起業家）

- (1) 起業に関する基礎知識
- (2) 起業するには？
- (3) 講師の経験談
- (4) 昨年インターン参加者の発表
- (5) 質疑応答

第2部（宮津市職員）

- (1) 宮津市とは
- (2) 抱える問題
- (3) 活かしたい強み、特徴
- (4) 質疑応答

②参加者募集+選考

- ・主催 起業インターンシップ運営団体
- ・参加者 スキル学習に参加した大学生
- ・選考フロー
 - (1) エントリーシート（起業に対する思い、あなたの考える宮津の魅力）
 - (2) 個人面接（運営団体+市職員で選考を行う）

④- 4 政策立案（インターンシップの流れについて②）

③起業インターンシップ事前準備（約4か月）

<準備内容>

- ・宮津に複数回訪れ、調査を行う
- ・**宮津市主催で食事会を開催**
（宮津の特産品に触れる機会、地元の人との交流の場）
- ・オンラインを活用し、定期的に会議を開催
（運営団体もメンターとして参加する）

④起業インターンシップ開催（約2か月）

<具体的な取り組み>

- ・考えた起業内容の実施（**長期休暇中**）
※市の施設もしくは空き家を提供し利用可能に
（店舗としてもオフィスとしても活用可）
- ・毎週ワークシートを運営団体に提出し、売り上げ向上のため改善を図る

事業内容吟味

<準備期間の目標>

- ・宮津市について深く知る
- ・起業テーマ決定
- ・具体的な起業案の選定

模擬経験による成功体験

<最終目標>

- ・インターンシップの成功
- ・起業の「成功体験」を獲得
- ・将来的に起業の道へ

④-5 政策の具体例

宮津市の特産品《なまこ》を使った起業インターンシップの場合

1

起業イメージの具現化

起業に関する講座の開催

- ・ 起業する際に必要な知識の学習
- ・ 起業に利用予定の宮津産のモノを理解



3

模擬経験による成功体験

起業インターンシップ開催

- ・ 学生が漁師や魚屋と値段等の交渉をし、商品販売
- ・ 売れるためにはどんなパッケージにするか、
- ・ 予算はどうするか等、全て1から考案
- ・ 実際に店舗を設立し経営

2

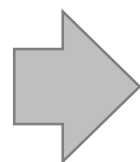
事業内容吟味

起業インターンシップ 事前準備

- ・ なまこを使用して、どんな商品を作るか思考
 - ・ どこにニーズの焦点をあてるか決定
- Ex) 学生人気の高さを考える場合、なまこの唐揚げ等

起業成功体験

この体験が、
起業意思決定を後押し



このようなプロセスを通じて、

学生

と

宮津市

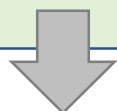
はどのような効果を得られるのか？

⑤-1 政策の効果

学生



《課題》
・ 起業の成功体験を積む機会が無い

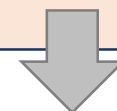


既存の支援団体にはない項目を網羅
(スキル学習、事業内容吟味、模擬経験での成功体験)
→成功体験をもとに将来の起業への意識向上

宮津市



《課題》
・ 年少人口、生産年齢人口の減少
・ 財政力指数と創業比率の低さ



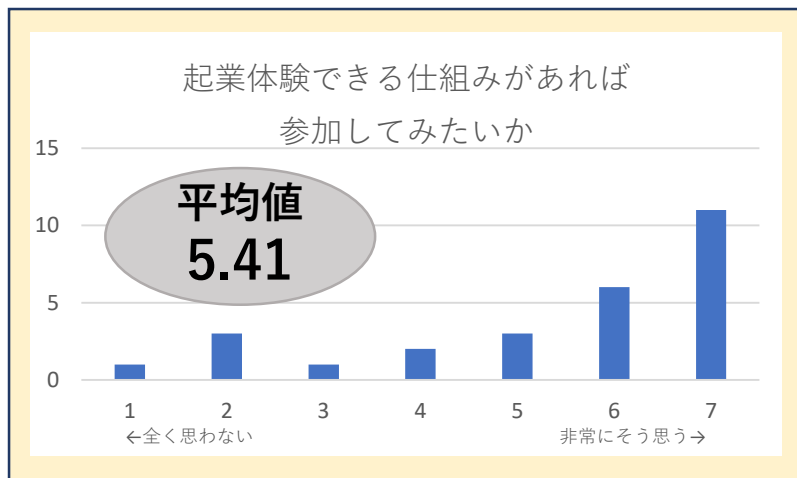
・ 宮津市で起業する若者の増加
・ 創業比率アップに伴う**財政力の強化**
・ 宮津市の**年少人口、生産年齢人口の増加**

これを叶えるのが、

起業INTERNSHIP

⑤-2 アンケート結果から見出す政策の効果

💡実際に宮津市出身の大学生にアンケート調査を実施（27件）

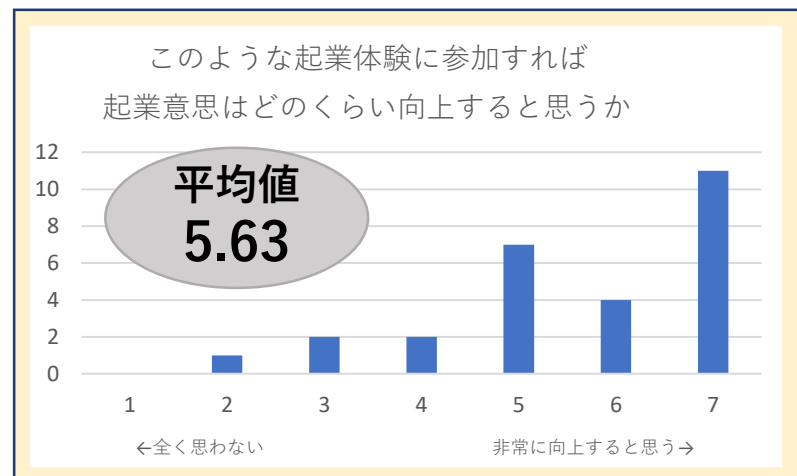


アンケートの結果から

- ・このような起業体験に参加したいと答えた学生 = 多数
- ・起業体験の結果、起業意思が向上すると思うと回答した学生 = 多数

学生にとってもニーズがあり

将来的に創業比率の上昇が見込める



参加意向と起業意思の向上の
相関関係0.73（非常に強い）

参加意向が高い人ほど起業体験の場に参加すれば起業意思が高まる可能性

→起業体験への参加意向が高い人の参加を促進する仕組みが効果的

⑤-3 本政策への宮津市の評価

創業比率アップに伴う財政力の強化

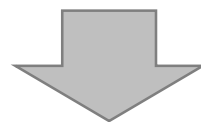
創業比率

全国平均
4.3%

本政策により創業比率が**全国平均0.43**まで上昇すると仮定

→財政力指数は**0.49**まで向上すると予測

(スライド6枚目の②-2の回帰式に当てはめた場合)



宮津市の財政力指数は全国923位→877位へ上昇

財政力指数の**全国平均(0.5)とほぼ同値**

宮津市の職員の方の話

宮津市の創業制度の利用実績

一昨年：2件
昨年：4件



利用実績が少なく、
改善が必要だと感じている

本政策をお話ししたところ...

「非常に魅力的である」



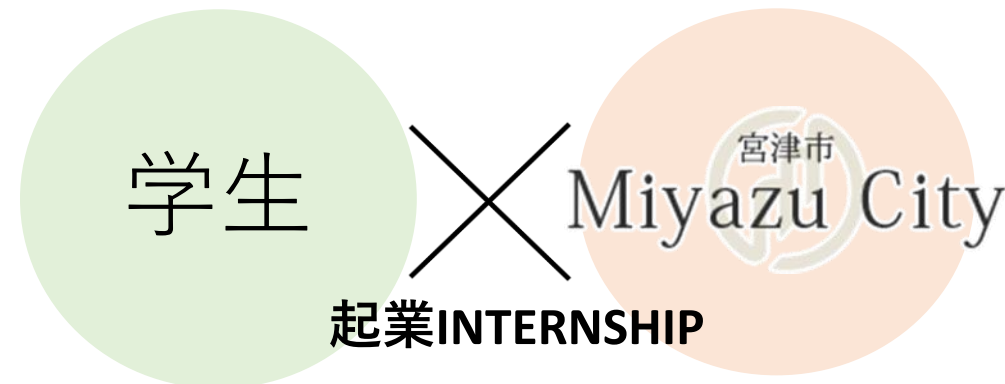
「これまでの利用状況から、
このような実際の成功体験を獲得できる制度は
既存の制度ではなかったもので斬新さがある」

実際に宮津市職員の方にも、
この政策が効果的であると評価していただいた

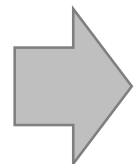
⑤-4 将来の展望

将来的な政策の効果として

宮津市で起業する若者の増加が見込める！！



- ・創業比率アップに伴う財政力の強化
- ・宮津市の年少人口、生産年齢人口の増加
- ・宮津市の知名度向上



起業INTERNSHIPにより 宮津市の活性化を図ることができる